

アートをつばさ5

—「落合陽一展」—

東京ガーデンテラス紀尾井町（東京都千代田区紀尾井町1-2）で開催中の「**ジャパニー
ズテクニウム展**」に行ってきました。「**現代の魔法使い**」**落合陽一氏**の作品展です。

落合陽一氏は、開成高校卒業後、筑波大学情報学群情報メディア創成学類で学び、その後東京大学大学院学際情報学府を短縮修了（飛び級）して博士号を取得。現在、**筑波大学学長補佐・助教**、デジタルネイチャー研究室主宰、「**メディアアーティスト**」「**スーパークリエーター**」です。**テレビ番組**やCMにも出演しており「現代の魔法使い」と呼ばれています。世界の近未来を担う「**天才**」で、1987年生まれの**30歳**です。

落合作品の中で、私の最も好きな作品は「**レヴィトロブ**」です。銀色の球は浮上して1つ1つ回転しながら、まわっています！高度なテクノロジーを駆使しながら、それを感じさせない「**アートの力**」に満ちています。極めて完成度の高い作品だと思います。

2番目に好きな作品は、**蝶が浮かぶ「コロイドディスプレイ」**です。こちらは、昨年秋の「**県北芸術祭**」でも展示され、ポスターにも採用されていた作品です。

落合陽一氏は、これまで3冊の本を書いています。①『**魔法の世紀**』（PLENETS・2015年11月発行） ②『**これからの世界をつくる仲間たちへ**』（小学館・2016年4月発行） ③『**超A I 時代の生存戦略**—シンギュラリティに備える34のリスト—』（大和書房・2017年3月発行）です。私は全て読んでいます。②は本校図書館にも所蔵されています。

それでは、落合陽一氏の代表作をご覧ください。気合いを入れて撮影しました(^_^)v。

